

# BASEL



- 発行責任者: 横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者: 広報担当理事
- 連絡先 : 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内

Fax 045(475)2053

<http://basel-y.sakura.ne.jp>



ブラインドサッカー

ゴールボール

フライングディスク

(アイシェード)

ボッチャ

サウンドテーブルテニス (STT)

---

## 会長挨拶

---

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会  
岩澤 英喜

6月1日の総会におきまして、会長に就任いたしました岩澤英喜です。  
平井会長の急逝にともないまして、大役をお引き受けすることとなりました。  
来年にせまりました東京オリンピック・パラリンピックを機に横浜市における障がい者スポーツも盛り上がりを見せてきているように思います。  
それにとともにまして横浜ラポール、横浜市体育協会をはじめとする多くの皆様からご支援をいただけるようになり、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会の活動の場も増えてきたように思われます。  
そのため、多くの会員にご協力をいただけるようにと、電子メールやインターネットを活用していち早く情報提供していく事業も緒に就いたところです。こうしたよい流れを滞らせることのないよう、微力ながら努力してまいりますのでどうかよろしく願いいたします。

# 平成30年度三協議会及び障がい者スポーツ info2019 参加報告

主催：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

日時：平成31年3月5日(火)・6日(水)

場所：ベルサール東京日本橋

開会挨拶

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 常務理事 山田登志夫氏

文部科学省 スポーツ庁 健康スポーツ課 障害者スポーツ振興課 室長 黒沼一郎氏

① 平成30年度事業報告(仮) 平成31年度事業計画

② 各専門委員会活動報告

③ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて

テストイベント 「ジャパンパラゴールボール」「ジャパンパラボッチャ」

「ジャパンパラウィルチェアラグビー」「ジャパンパラ陸上」

ウィルチェアラグビーワールドチャレンジ 2019 10月16日～20日 東京体育館

\*ラグビーワールドカップと同時開催

④ 全国障害者スポーツ大会について

・茨城大会競技規則改正

卓球：STT アイシェードも可とし各自で用意する

陸上：視覚障害 アイシェードの装着も可

水泳：視覚障害者のゴーグルの装着区間の変更

招集所で確認後、プールへ入場するまでに装着し、競技終了まで

・鹿児島大会競技規則改正

精神障害者参加資格：

精神障害者保険福祉手帳所持者、自立支援医療受給者証取得者のみ

(通院証明書の証明は廃止)

視覚障害区分：良い方の視力で障害区分を判定

STT：「打つ」とは競技者のラケット(グリップを含む)およびラケットハンドでボールに触れることとする。グリップ及びラケットハンドで打球した場合、打球音がすれば有効であるが、打球音がしない場合はホールディングとして無効とする

・三重大会改正予定

ボッチャ導入

年齢区分・障害区分の見直し検討 役員数の見直し検討

⑤ スポーツ・インテグリティの確保について

⑥ 三協議会団体登録について

会長表彰者「特別功労者」高橋義則氏(横浜市推薦)

スポーツ info2019

テーマ「障がいのある女性アスリートを取り巻く環境と課題」

① 性差トレーニング ② 栄養 ③ 生理について

\*三協議会：障がい者スポーツ競技団体協議会・障がい者スポーツ協会協議会・障がい者スポーツ指導者協議会

参加者：競技会役員 田川豪太・岩澤英喜

---

## ハマピック個人競技を終えて

---

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール  
スポーツ課 徳山 茉奈

4月から5月にかけて開催した第24回ハマピック個人競技、全6競技が無事終了いたしました。今大会へのエントリー数は533名で、昨年度より30名程減少していますが、初参加の選手は増加の傾向がみられました。

今年度より、全国障害者スポーツ「卓球競技」に、「精神障害の部」が加わりました。これに伴い精神障害選手のハマピック参加が、昨年の8名から14名に増加しました。ベテラン選手達の記録更新が多くあった一方で、初参加や出場回数の少ない選手達によるハマピック新記録も多数生まれています。喜ぶ選手がいる反面、悔しい思いをする選手もいるのが競技会です。それを支えている監督・コーチ・ご家族の方々も同じ想いを共有します。この想いが次の成長へと繋がり、そして追う立場から追われる立場へと変わっていきます。選手がいるから、悩むこと、喜ぶこと、そして学ぶことが出来る。指導者も選手と共に成長していきます。これが指導者の醍醐味ではないでしょうか。私は日々、選手達から学ぶことが多く、悩みも増えますが、嬉しい悲鳴です。

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会の皆様には、大会運営において多大なるご協力を頂いております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

大会運営をする傍ら、教え子が大会に出ていて気が気ではない方もいらっしゃるかと思います。まだまだ可能性を引き出してあげられる選手は沢山いる、そしてこれは私たち指導者の課題でもあります。協議会の皆さまのお力添えを頂き、共に障害者スポーツを振興していきたいと思っております。



---

### \* 訃報



平井 晃 会長が平成31年3月にご逝去されました。

平成20年当協議会の会長に就任しました。  
人望も厚く横浜市身体障害者団体連合会の理事長をはじめ  
多くの団体の要職を歴任されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

---

## 研修コーナー

---

種目別研修会

開催日2019年6月1日(土)10時～12時

研修担当 後藤 貴久

令和最初の研修会は、令和3年度から全国障害者スポーツ大会に「ボッチャ競技」が導入されるため、「全国障害者スポーツ大会のボッチャ競技」をテーマに実施しました。横浜ラポールの徳山指導員と本協議会役員の河合が講師を行いました。研修の参加者は54名でした。

研修内容は、「①道具の紹介も含めた基本のルールの説明」「②選手の動きや審判等の動きの確認」「③実際に体験」の流れでおこなわれました。ボッチャコートは6コート作成し、少人数のグループを作ってルール等を確認しながら行いました。近年、ボッチャ競技のルールも少し変更になったこともあり、全国障害者スポーツ大会特有のルールと相まって、経験者ほど混乱する内容だったので、実際に体験しながら確認できたことは良かったと一定の評価をいただきました。ボッチャは非常にシンプルでありながら奥深い競技です。レクリエーションスポーツと競技スポーツの両面性があり、幅広い指導技術が求められます。基本のルールを知ったうえで参加者のニーズに合わせて柔軟に対応していくことが必要です。

今回の研修では役員を始め、たくさんのBASEL会員の運営協力がありました。今後も研修を受ける立場から一緒に作る立場として皆様のご協力をお願いしたいと思っております。



---

## 海外で活動されているバセル会員の紹介

---

会員 横川 信子

2016年から3年間 JICA のシニア海外ボランティアとして南米チリで「障害者スポーツ支援」に携わりました。活動先はチリ国立の「障害者リハビリテーション病院」です。リハビリ病院では「ボッチャ」「卓球」「CP サッカー」など様々な障害者スポーツ活動がありました。2014年に初めて赴任した際に「障害者水泳」を立ち上げ、2度目の今回は「障害者水泳」を広めることが目的でした。チリと日本の水泳習慣・指導方法の違いを痛感し、多くの困難・言葉の壁・葛藤があり試行錯誤しながら指導を続けました。



「パラリンピック水泳チリ全国大会」は年に2回開催されます。リハビリ病院から全国大会に出場できる選手は2016年はゼロでしたが、2017年になると6名、2018年には13名の選手が出場し、個人種目でのメダルだけでなくチリ国内で「チーム優勝」(全19チーム出場)を果たすまで成長しました。教え子の中には今年のブラジルで行われた「ワールドシリーズ」にチリ代表として出場し、メダルを獲得。来年の東京パラリンピックを目指している選手もいます。

私の夢「2020年東京オリパラでチリと日本の懸け橋になりたい!!」も膨らんできました。チリのパラリンピックチームを受け入れるホストタウンが宮城県加美町に決まり、今年2月の加美町で行われた調印式にパラカヌー一選手等が来日した際はチリ代表選手団のサポート役として同行させていただきました。

今後もラポールの活動を含めて障害者スポーツを盛り上げていきたいと思っております。

## 会員の活動・体験コーナー

### 【2月3日(日)スポーツフェスタ「ボウリングの日」 於;町田ボウリングセンター】

会員 安室 茂美

今回のフェスタには男性 20 名、女性 7 名が参加されました。選手の皆さんは何度も参加されている方が多く、スムーズにゲームが行なわれ、予定時間より早めに終わりました。ゲーム中に歓喜の声が聞かれることも多々あり、応援する人とハイタッチをしたりと和やかな雰囲気で行なわれました。200 以上のスコアも出す選手もいて、終始楽しくボウリングが出来たと思います。今後も一緒に楽しく参加できるようにしたいです。



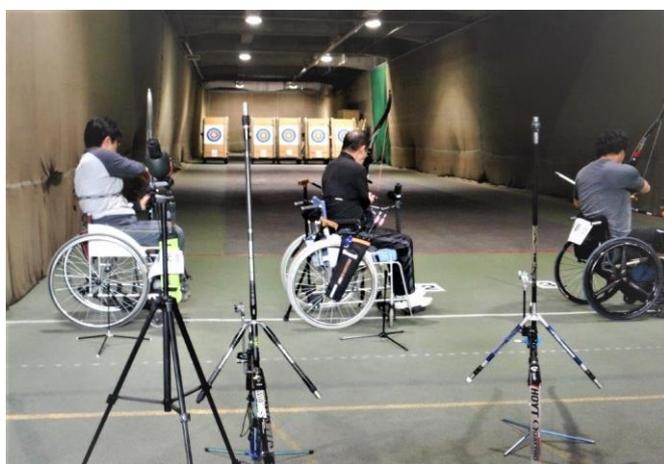
### 【2月17日(日)スポーツフェスタ「ポッチャの日」 於;横浜ラポール】

広報

ジュニア 10 チーム 33 名、成人 29 チーム 93 名が 9 コートに分かれリーグ戦が行われました。他県からのエントリーもあり熱戦がくりひろげられ、各コートごとに優勝チームが表彰されました。GO・GB(ゴー・ジービー。オリ・パラでイギリス選手を応援するサポーター)の皆さんが訪問されました。バセルからは前日のコート準備も含め延べ 49 名のボランティアが参加しました。

### 【4月7日(日)ハマピック「アーチェリー競技」 於;横浜ラポール】

会員 木村 恵子



私は昨年に初級指導員の資格を取得し、数回ボランティア活動に参加させていただいています。今年度は、ハマピックのアーチェリーのボランティアに初めて参加させていただきました。試合中はとても緊張しましたが、色々なルールがあることを知り、とても勉強になりました。

矢が線上にかかっているときは高い得点を取る。中心の場合は点ではなく“X”(エックス)と採点表に記載、採点表の記入を間違ってしまった時は、審判員に声を掛け、矢を抜く前に訂正するなど知らないことばかりでした。

選手の方々から障がいがあるということを感じさせない試合が見られ、バセルの活動をしなければ知る事の出来なかったことを経験させていただきました。今後もまだ経験していないスポーツのボランティア活動が出来たらと思っています。

### 【4月14日(日)ハマピック「ボウリング競技」 於;町田ボウリングセンター】

会員 西原 雅子

横浜より少し遠い会場ですが皆元気に張り切って、今日初めての方や何年ものベテランさん合わせて 63 名が参加されました。選手の皆さんが落ち着いてしっかり投げる上達した姿を見て感動し、フォースやシック

ス等、バーンバーンと小気味良い音をたてて、ターキーなどはもう当たり前のような素晴らしい腕前を見せられると、全国大会で全員がメダルを取ってくれそうな期待が持てる雰囲気でした。

私達バセルの仲間も協力し合い、会場の準備、受付やスコアミス修正や得点の確認、表彰状作成しメダルと共に役員に渡し、該当選手の喜びの顔にホッと、残念だった参加者には次回また頑張ろうねと励まし、試合の楽しさを満喫させて戴きました。皆様のご協力のお蔭で予定通り、トラブルも無く終わる事が出来ました。とても良い勉強になった一日でした。有難うございました。

#### 【4月14日(日)ハマピック「卓球・サウンドテーブルテニス競技」於;横浜ラポール】

会員 木部 哲男



サウンドテーブルテニス(STT)競技の支援内容は、球拾いを行うボールパーソンであり、試合中のコートチェンジ等の誘導も行います。

選手は、視覚に障害を持っていますが、コート内に入る時にはアイマスクを着けて、聴覚に集中します。会場は、ゲーム前になると紙やビニールの擦れる音もなく、シーンと静まり返っています。その静けさの中の張りつめた空気を感じられることも、日々の雑音の中で生活している人にとっては、魅力かも知れません。

審判の「プレー」の令により、サーバーが「行きます」と声をかけ、レシーバーが「はい」と答えます。パンツ！ガラガラツという音が静寂を破ると、ゲームが開始されます。ボールがネット下をサッとすり抜けて、ラリーが続くと拍手をしたくなりますが我慢です。そんな別の世界を体験するのも、新たな自分を発見する機会になるかも知れません。感動をありがとうございました。

#### 【4月21日(日)ハマピック「水泳競技」於;横浜ラポール】

会員 喜多井 美保

水泳競技会ボラは今回で2度目で、昨年と同じ第1招集係として活動しました。試合前に一緒に泳ぐメンバーと顔を合わせる場所でもある為か緊張した面持ちで、みんな集まって来ます。「一緒に頑張ろう！」「うん！頑張る！」と握手を交わす選手や、「いつも競技会で隣のレーンだった選手が今日は休みで寂しいな・・・」と、残念そうな顔をする選手。ある選手からは「今日は一番速く超特急のように泳ぐ！僕頑張るよ！」と話しかけられどの選手もいろいろな思いを胸に今日を迎えているんだなと感じました。



競技会は午前午後合わせて60レースが行われ、この日だけで28個の新記録が出ました。

招集係は試合の様子を見ることは出来ませんが選手たちを無事にレースに送り出す大切な役目、貴重な体験をすることが出来ました。来年も参加したいと思いました。

## 【4月29日(月、祝)ハマピック「フライングディスク競技」於;新横浜公園投てき練習場】

会員 工藤 直美

昨年横浜の活動に参加して、フライングディスクのお手伝いも経験しましたが、今回ハマピックで練習会とはまた違う競技性の高いスポーツだと感じました。

初めて会う方々ばかりでしたが、皆さんやさしくて楽しく活動できました。お弁当もとても美味しかったです！

機会があれば、また様々な種類の競技のお手伝いをしてみたいと思います。



## 【5月6日(月、祝)ハマピック「陸上競技」於;三ツ沢公園陸上競技場】

会員 加山 則行

第24回ハマピック陸上競技大会が開催され、ボランティアとして参加しました。



当日は天候にも恵まれ、エントリー選手221名、そして家族や友人など応援する大勢の方々が競技場に来られて、とても盛り上がった一日となりました。

選手の皆さんは日頃の練習の成果をそれぞれの種目で発揮されていました。またこの大会は第19回全国障害者スポーツ大会派遣選考も兼ねていた為、選手の緊張感が見られる場面もありましたが最大限の力を発揮し、トラック競技9、フィールド競技15もの新記録が出たレベルの高い大会となりました。

## 【5月19日(日)「ふれあいスポーツ大会」於;横浜ラポール】

会員 高橋 幸恵

さわやかな五月晴れの中、今年はラポールグラウンドで行われました。

10時に開会し参加者の入場行進があり、元気の出る体操の担当を頼まれていたので、皆様の前で一緒に体操をしました。午前中は4種目の競技「①1000分の1マラソン」「②バランスボール」「③おやつにしましよう」「④ふれあいリレー」、楽しいお昼の後は「⑤輪になってみんなで踊ろう」「⑥玉入れ」「⑦大玉ころがし」「⑧ラグビーラポールカップ」「⑨魚釣りゲーム」「⑩大どんでん返しの綱引き」等がありました。

かなり暑かったので途中水分補給の休憩をとりながらも、時間もほぼ予定通りでケガ人もなく、少差で今年も赤組の勝ちで終わりました。閉会式の「みんなで歌おう U.S.A」では前で踊る人もいて大いに盛り上がりフィナーレです。

来年も楽しいゲームを考えているということなので、楽しみにしています。



## お知らせコーナー

### 【総会報告】

2019年6月1日(土) ラポールボックスに於いて開催されました。  
全ての議案が承認され無事終了いたしました。

横浜で障害者スポーツ指導員中級研修を開催してほしいという意見や、メールの活用方法についての意見交換がありました。  
ご協力ありがとうございました。



### 【ポロシャツ・スタッフジャンパー斡旋】

バセルの活動時にご着用していただくポロシャツ・スタッフジャンパーの斡旋をします。サイズ表、価格、申込み方法、受け取り方法等々は同封の資料をご覧になり必要な方はお申込みください。

尚、地域活動の時には必ずご着用お願いします。

今後、イベント時のジャンパー・Tシャツの貸与はありませんのでご了承ください。



### 【研修会のお知らせ】

2019年10月26日(土)横浜市障がい者スポーツ指導者協議会の研修会を開催します。  
内容その他は同封の研修会のお知らせをご覧ください。

受講決定通知は行いませんので、申込みされた方は当日お越しください。

多くの方のご参加をお待ちしています。

テーマ「全国障害者スポーツ大会報告」

「ハマピックの障害区分について」(講義)

「スポーツ・リズム・トレーニング」(実技)

### 【メールアドレス登録の件】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼情報をメールで配信しています。  
情報配信を希望される方はQRコードを携帯やスマートフォンなどで読み取るか  
下記のアドレスよりお名前・会員番号を入力して返信してください。

[touroku@basel-y.sakura.ne.jp](mailto:touroku@basel-y.sakura.ne.jp)



【会員数 2019年7月現在 541名】